

〔私の生涯学習〕

『生涯学習』～楽しみながら学ぶ幸せ～

石 橋 静 香

(平成21年度科目等履修生・公開講座受講生)

私はこの長岡大学でパート職員として働いていたと同時に、科目等履修生もしていました。

受講していたのは「中国語」と「国内・海外旅行実務」です。

その他、興味を持った公開講座もいくつか参加させていただきました。

中でも予てから一番勉強したいと思っていた「中国語」についてお話ししたいと思います。

私が中国語に興味を持ち始めたきっかけは、5～6年前に中国へ旅行に行った時。

英語が得意ではない私は、中国で見かける漢字を見て「日本と同じ漢字なら私にもできそうだ!」と思ったのです。なんと安易な考えだったことか(笑)

しかし、中国語会話集と「中国語検定4級」の問題集を買ってみたものの、それらを使った良い勉強法もわからず、当然長続きもせず…。

かといって当時の私には中国語会話教室に通う時間もなく、徐々に勉強意欲は薄れていきました。

日々の生活に追われ、中国語の勉強も忘れ去られていた2年前、専業主婦だった私が就職先を探していたところ、ご縁あって長岡大学でお世話になることになりました。

そして大学で働き始めて、初めて「科目等履修生」という制度を知ったのです。そこで「勤務時間外なら職員も受講可能」と聞き、私が受けられる時間帯の科目に「中国語」を見つけた時、忘れ去られていた勉強意欲がみるみる湧き始めました!

しかし、大学で講義なんて受けたことのない私。

まず敷居が高いと思いましたし、ましてや現役学生と一緒に授業を受けるなんて、飲み込みの悪い私について行けるのか…と不安にもなりました。

これは初めて科目等履修生をされる方にとっては、多かれ少なかれ心配に思うところかと思います。

ですが、お試し期間に講義を見学(受講)できるので、それなら私も…と受講してみたところ、先生の教え方が丁寧で分かり易く、これなら私にも続けられそうだと安心し、受講を決意したのを思い出します。

先生はテキスト通りにただ教えるのではなく、私たちに「ちゃんと理解してもらいたい!」という強い思いで、本当に丁寧に指導下さいました。

興味のある科目とは言え、語学の勉強ですから頭の中が「???」になる事も多々ありましたが、中国の文化などを織り交ぜてのお話もあり、そのおかげで楽しく学ぶことができ、毎回授業の最後は充実感いっぱいでした。(それなのに予習も復習もせずに授業を受けていて、先生には申し訳なく思うばかりです)

また心強く感じたのは、同じ科目等履修生の方がいらっしまったことです。

その方とは家庭のある女性同士というのもあり、予習・復習の時間がないという言い訳(!)も解り合えたり、なかなか覚えられないなどの不安もお話しすることによって気持ちが楽になりましたので、そのおかげで授業を更に楽しく受けられたのだと、今でもありがたく思います。

安易な考えから興味を持った中国語ですが、正しく学ぶことにより段々と意欲も強くなりました。

中国語力はまだまだですが、いつか中国に行った時、日本でも中国の方とお話しする機会に、少しでも会話が出来たら楽しいだろうなと思うとワクワクします。

更に中国語が上達して仕事にも活かせる位になれば、新潟という中国に近い地域として何かのお役に立てたら…とも思います。（ここまでできたら夢の様な話ですが）

また私は以前、旅行業に携わっていた事があり、もっと早く中国語と出会い、勉強しておくんだった、と悔いる事もしばしばです。もっとも今だからそう思うのでしょうか。

もし当時の私が勉強していたら、旅行業という仕事において幅が広がっていたに違いありません。

そう考えると、現役学生にとっては数ある受講科目の一つかもしれませんが、学生のうちに勉強できることがとても羨ましく思えます。

長岡大学では、男女問わず様々な年代の方が「科目等履修生」・「公開講座」を受講されています。

受講理由は人それぞれですが、学習への意欲はとても素晴らしいと思います。

特に「公開講座」はスキルアップの他に、趣味の一環として楽しめるものがたくさんあります。

学生と一緒に授業を受ける「科目等履修生」は時間帯も勉強内容もちょっと難しい…という方にも、公開講座は楽しんで頂けるのではないのでしょうか。実際、私も参加させて頂いた公開講座では、皆さんワクワクした面持ちで講師のお話を聞いてらっしゃいました。（もちろん私もその一人です）

興味を持ち、それを楽しく学ぶ時間と場所がある…なんて贅沢なんでしょう！

そのことに気付くきっかけを頂いた長岡大学、生涯学習センターの駒村様、お世話になった諸先生方、関係者の皆様に、改めて御礼申し上げます。

今年は事情により年度の途中で職場も科目等履修生も辞めてしまいましたが、「生涯学習」の素晴らしさを知った今、これからの長い人生においてもいろんなことに興味を持ち、『同じ“学ぶ”なら 楽しまにゃ損損！』の気持ちで楽しみながら知識を得ていきたいと思っています。本当にありがとうございました。